



芝間市社会福祉協議会

下市毛地区

社協だより

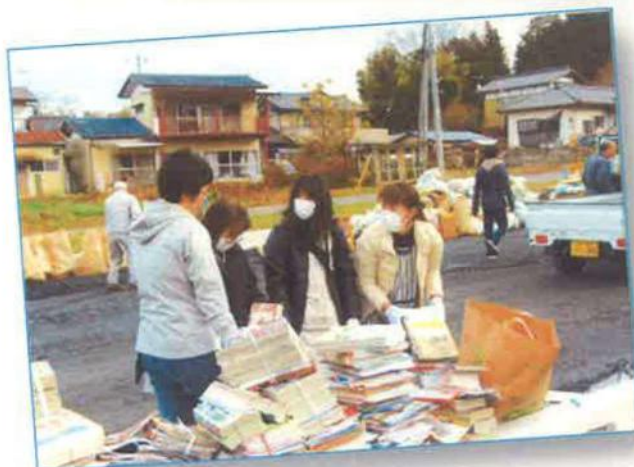
第10号

茨城県生活環境部長奨励賞の受賞

下市毛子供会会長 三村 順子

下市毛子供会では資源ごみの回収を年4回(2・5・8・12月)行っています。最近では国道355号バイパスに集めて回収業者に来て頂いています。資源ごみ回収は25年以上もの間続いているそうです。

平成29年11月21日(火)に桜川市大和ふれあいセンター「シトラス」で不法投棄防止、リサイクル推進県民フォーラムが開催されました。その中で、地域における資源物の集団解消活動に積極的に取り組み循環型社会の形成推進に多大な貢献をしたとのことで、下市毛子供会が茨城県生活環境部長奨励賞を頂きました。資源ごみ回収では下市毛の地区の皆様、青年部、子供会の会員の皆様に、大変お世話になっていきます。ありがとうございます。また、これからも続けていけるように引き続きご協力をお願いいたします。



自主防災訓練

自主防災会会長 飯塚 信一

台風22号の北上に伴い、天候が悪く野外での訓練を取りやめ、下市毛会館内において、10月29日(日)に32名参加して頂き防災訓練を実施いたしました。

想定として、首都直下地震が発生、10月29日午前10時頃都心南部においてM7.3、最大震度7、茨城県震度弱の地震発生、市内各地で建物倒壊等の被害が発生したことを想定としました。

今回空間消防署員2名を講師として招き、11番通報訓練、消火器取扱訓練、AEDの使用方法及び心肺蘇生方法の指導を受けました。AEDの使用方法及び心肺蘇生方法については、実際にそのような事態が起こった場合あわてないよう参加者全員が熱心に取り組みました。

安否の確認については、民生委員による災害避難行動台帳の提供を受ける際の手続きの仕方及び日頃から実施している社会福祉協議会による高齢者の弁当の配食、下市毛しだれ桜ボランティアにおける75歳以上の一人暮らしの方への弁当の配食等日頃から人員の掌握をしていることを話してもらいました。

非常食炊き出し訓練については、しだれ桜ボランティアの指導による無洗米のごはんの作り方を体験していただきました。

災害が発生した時、迅速かつ的確な対応処等を行なうためには、日頃からの訓練が必要となりますので、注意を喚起する為にも引き続き訓練を実施していきたいと思っております。

